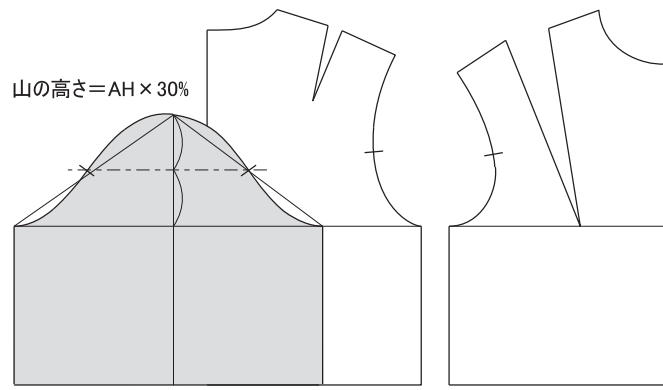
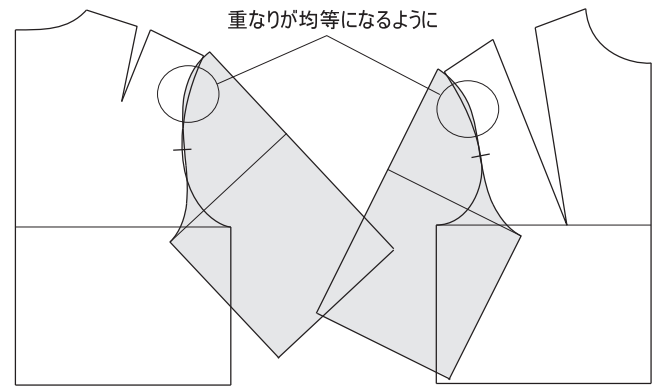


■ブラウス、ジャケット等の作図

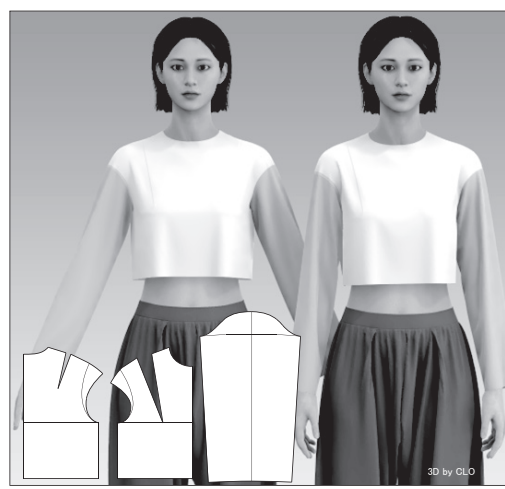


【9-1】

■ブラウス、ジャケット等の作図

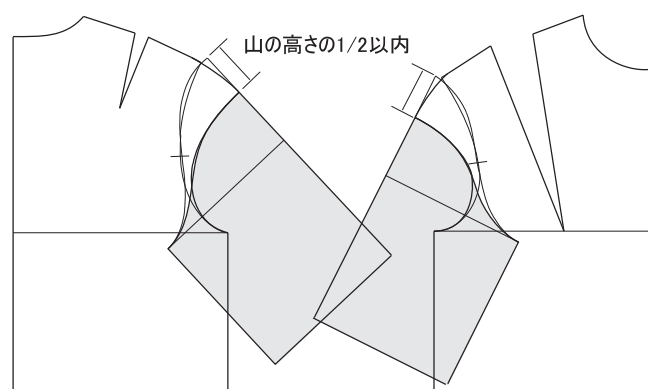


【9-2】



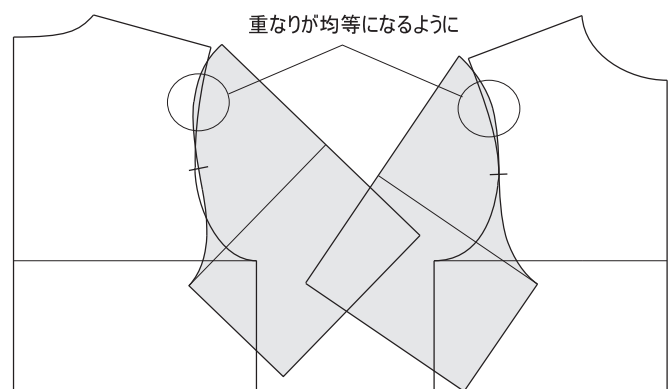
【9-4】

■ブラウス、ジャケット等の作図

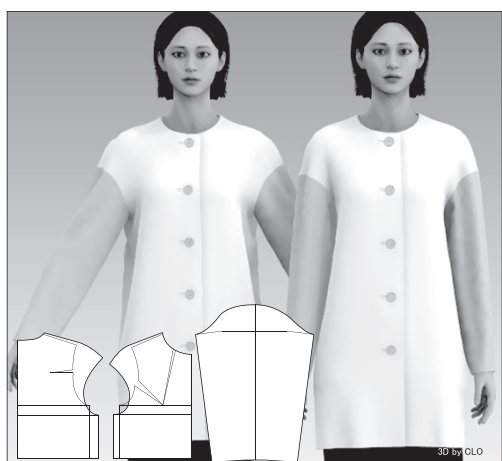


【9-3】

■コート等の作図

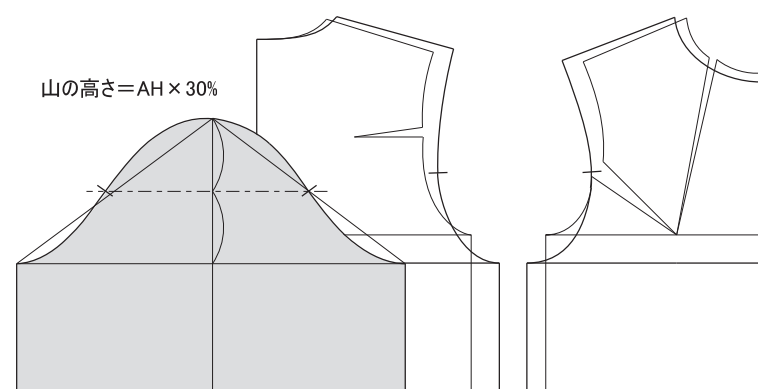


【9-6】



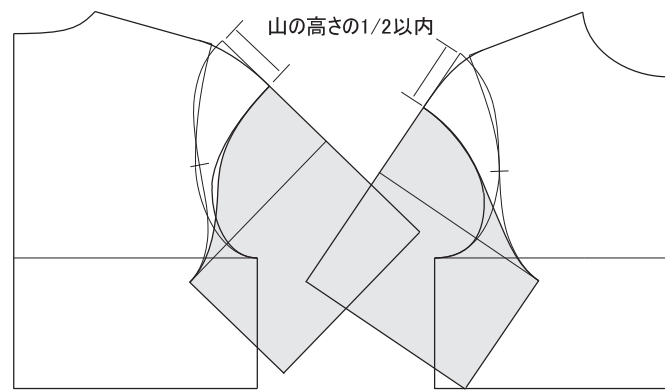
【9-8】

■コート等の作図



【9-5】

■コート等の作図



【9-7】

【9-1】ブラウスや

【9-2】袖を前後

【9-3】コート等を

【9-4】アバターに

【9-5】袖の山部分

【9-6】袖を前後

【9-7】ドロップ

【9-8】アバターに

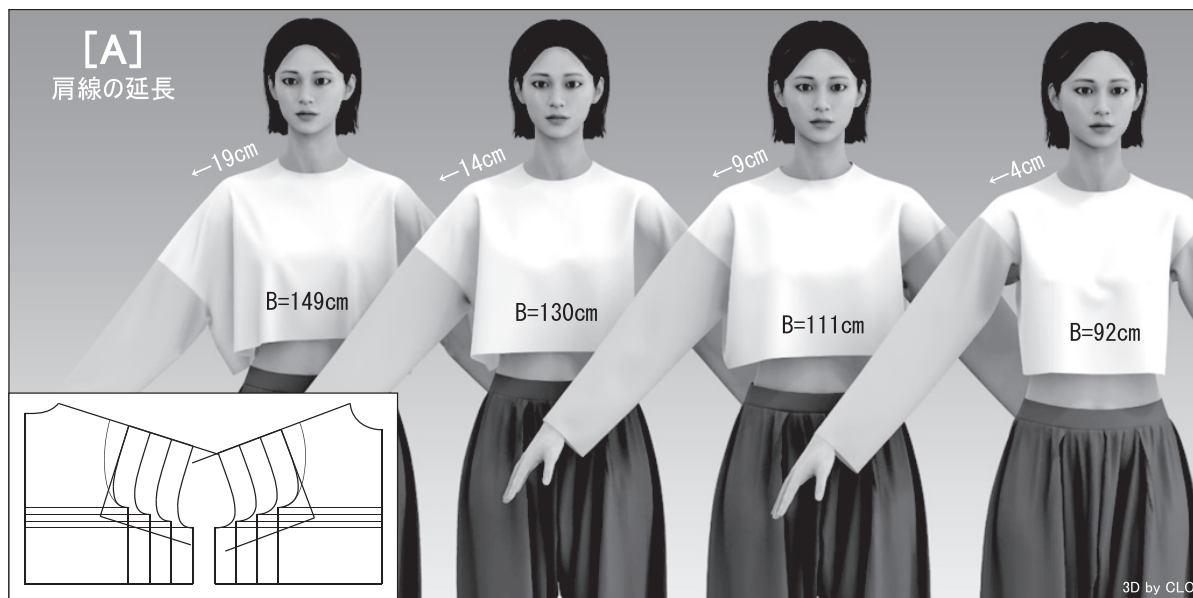
9. 袖のパターン有りの作図法

原形からの展開に慣れ、ジャケットを想定した身に着ける者にとっては、やがと袖のパターン。はり袖のパターンが、つるつるのほうがか、それを身に着ける、何かと都合がよく理解しやすい。そこで最後に、袖のパターン有りの作図法を解説する。

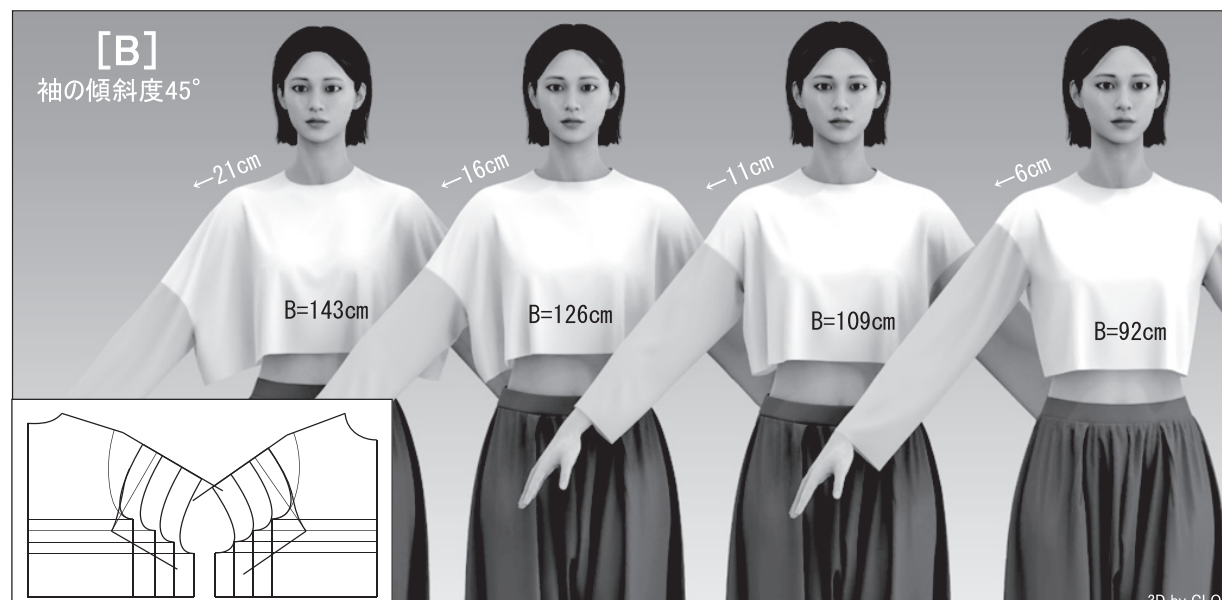
【9-1】ブラウスや、【9-2】袖を前後、【9-3】コート等を、【9-4】アバターに、【9-5】袖の山部分、【9-6】袖を前後、【9-7】ドロップ、【9-8】アバターに

8. アバターに着装したシミュレーション

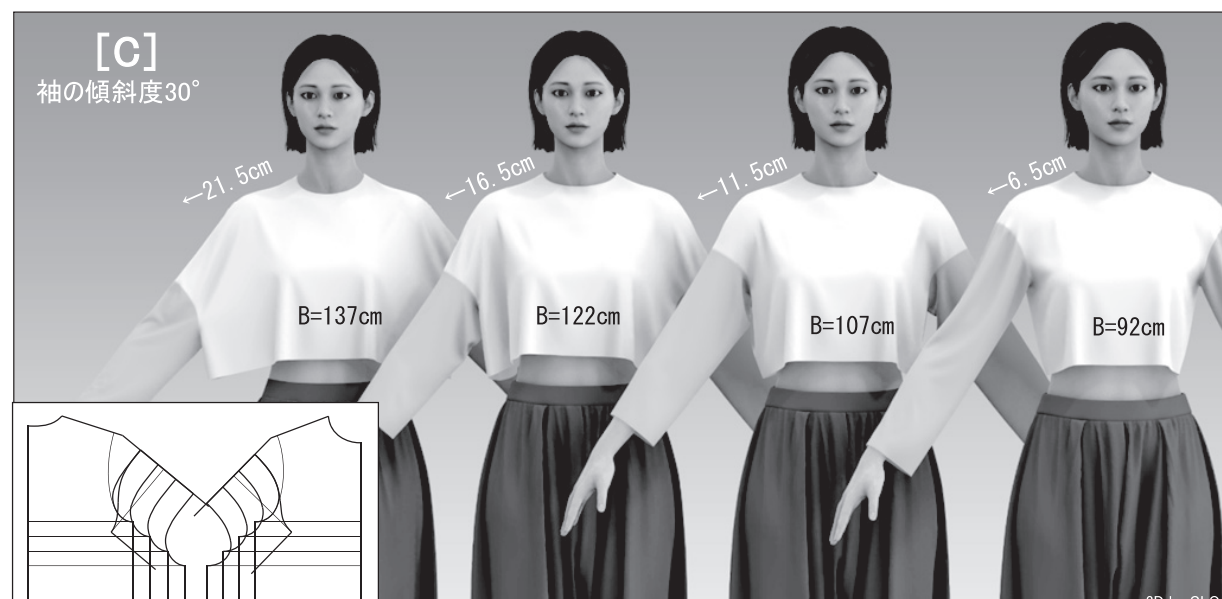
前回の続きです。本当は作図方法についても、ドロップショルダー、前回は違う方法でドロップショルダーの作図をするつもりでしたが、もともと3Dで検証を、確認をしながら、今回行いましたので、併せて3DソフトのCLOを紹介しました。また、現してみる。



【8-1】



【8-2】



【8-3】

けた3D画像。バスト寸法が増えたと、度特度のパターンを着せ付けた3D画像。度特度のパターンを着せ付けた3D画像。最も少ないのが、このシミュレーションでも確認できる。【8-2】傾斜、【8-3】傾斜



トワルチェックをデジタル化するなら

PATTERN MAGIC® II 3D

実際だと2~3時間かかるトワル作成が、3Dだと1型5分ぐらいで着せ付けた状態を見ることができます。

デザイナーや営業とのデザイン確認に使い、意思疎通が取りやすくなりました。

展開サイズのトワルチェックは、実物トワルを組まず、3Dでの確認だけで済み、すごく時間短縮になりました。

2DのPATTERN MAGIC® IIと連動していて操作性も同じなので、簡単に3Dを作ることができるのが良いです。

CUSTOMERS' VOICE

分量感やバランスをトワル作成前に確認し、トワルを組み直すことを減らしました。

3Dなら着せ付け結果を並べたり保存できるので、修正前後の比較や昨年との比較がしやすいです。

実物ボディではできないパンツの股ぐりの確認ができたり、半身のパターンを作るだけで両身の表示できる機能が便利です。

導入事例 HPはこちら



PATTERN MAGIC® II 3Dは、IT導入補助金2025対象ツールです。

東LACS株式会社

お問い合わせ 東京：☎03-6327-7001 大阪：☎06-6253-5900

https://www.toray-accs.co.jp/

本広告に記載の「商標・登録商標」については、当社ウェブサイト (https://www.toray-accs.co.jp/trademark/) よりご確認いただけます。